

## 第4章 レンタサイクル



## 第4章 レンタサイクル

レンタサイクルを充実させることで、観光客の足の確保に努めるとともに、自転車の利用促進を図ります。

### 4-1 レンタサイクルの充実

#### (1) これまでの取組状況

##### ①実施方針

本市では、平成22年、平成23年に2ヶ月程度の短期的な観光型無料レンタサイクルを実施しており、社会実験の結果、利用が多く、中心市街地における来街者の回遊性の向上等の効果が得られたものの、事業展開していく上では、ランニングコストが高いことが課題として整理されました。

この結果を踏まえ、「都市型レンタサイクル」として中心市街地への自動車流入の抑制や公共交通への利用転換等を促しつつ、自転車を有料でレンタルし、民間事業者の運営ノウハウを生かすことで、利用料金による継続的な運営の可能性の検証を行います。

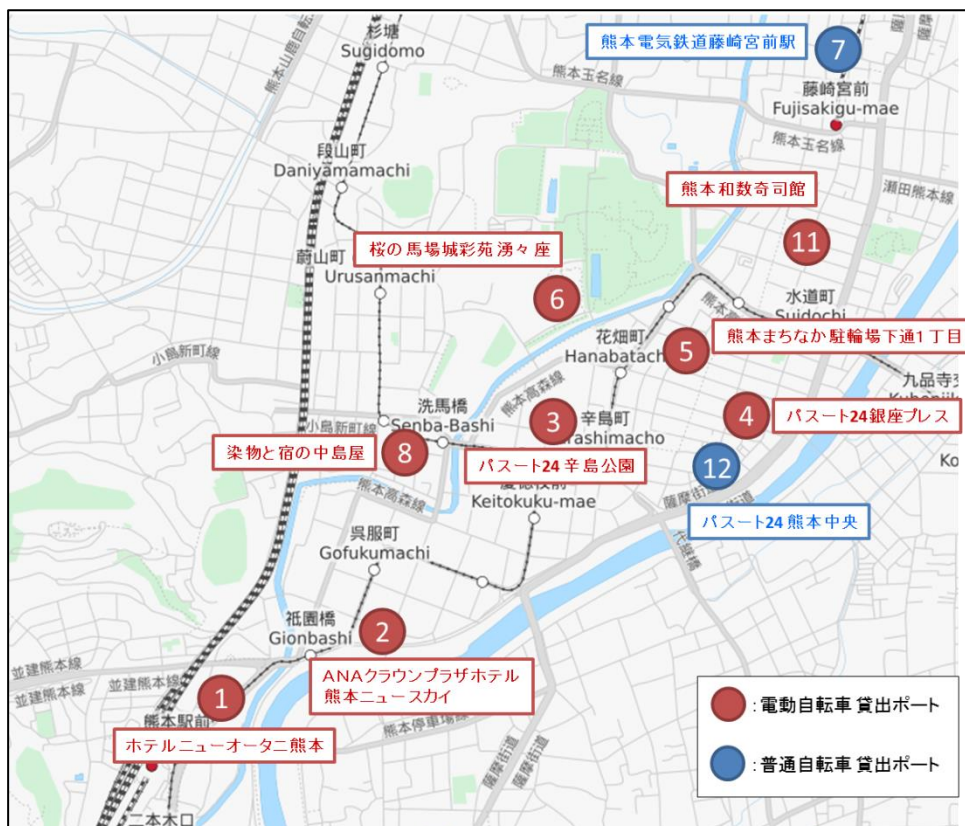
##### ②実施内容

上記の実施方針に基づき、平成24年7月20日より熊本市有料レンタサイクル社会実験事業（くまもとわくわくレンタサイクル）を実施しました。

年度	ポート数	自転車台数	事業展開等	広報周知等
H24	6箇所	電動50台	・事業開始（H24年7月～）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種パンフレット作成</li> <li>・各HP掲載</li> <li>・情報誌掲載</li> <li>・市政だよりなどの各種市政情報等</li> </ul>
H25	10箇所	電動50台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時乗捨（従前は土日）</li> <li>・利用時間延長（1時間延長、午後6時まで）</li> <li>・会員制度導入（会員料金500円→300円）</li> <li>・貸出ポート増設（4箇所）等</li> </ul>	
H26	11箇所	電動50台	・貸出ポート増設（1箇所）	
H27	10箇所	電動50台 普通20台	<ul style="list-style-type: none"> <li>※社会実験期間を1年延長</li> <li>・貸出ポート1箇所減（2箇所辞退、1箇所増設）</li> <li>・放置自転車活用の低価格帯の普通自転車20台を導入</li> </ul>	

<ポートマップ>

●市内中心部エリア



●水前寺エリア



© OpenStreetMap contributors

### ③実績

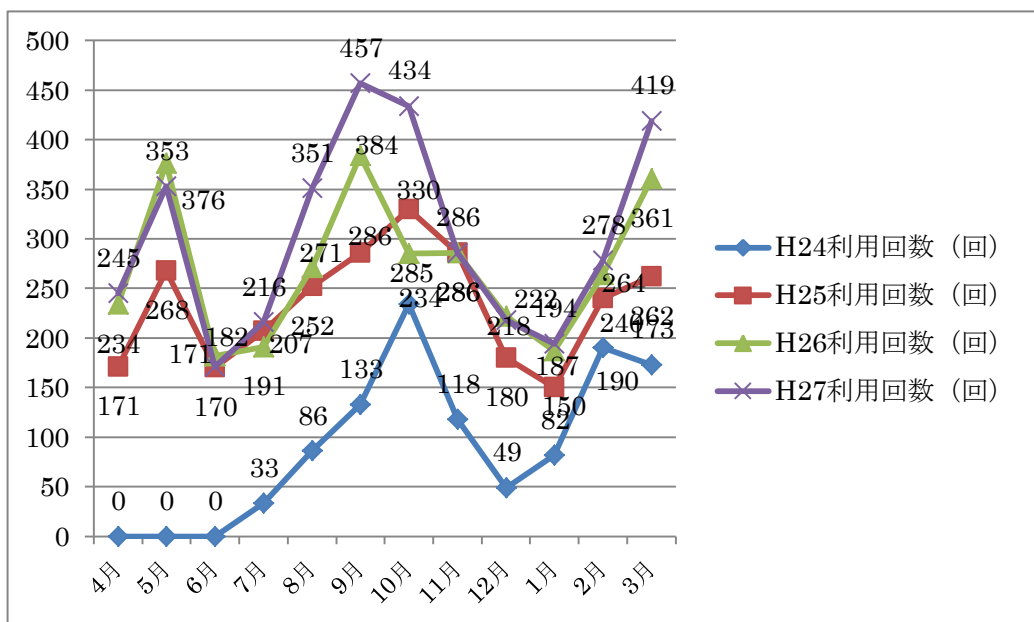
#### (i) 利用状況

年々増加傾向でしたが、最終年度で1日平均8.0回、稼働率は14.5%となりました。

		日数 (日)	総利用回数 (回)	日平均利用回数 (回/日)	稼働率 <sup>※1</sup> (回/台・日)
平成24年度		255	1,098	4.3	8.6
	平日	170	627	3.7	7.4
	祝休日	85	471	5.5	11.0
平成25年度		365	2,802	7.7	15.4
	平日	246	1,620	6.6	13.3
	祝休日	119	1,182	9.8	19.5
平成26年度		365	3,243	8.9	17.8
	平日	248	1,816	7.4	14.8
	祝休日	117	1,427	11.9	23.8
平成27年度 <sup>※2</sup>		366	3,622	9.9	14.1
平日	電動	246	1,682	6.9	13.8
	普通		331	1.4	6.8
祝休日	電動	120	1,469	11.9	23.9
	普通		140	1.1	5.7
合計		1,351	10,765	8.0	14.5

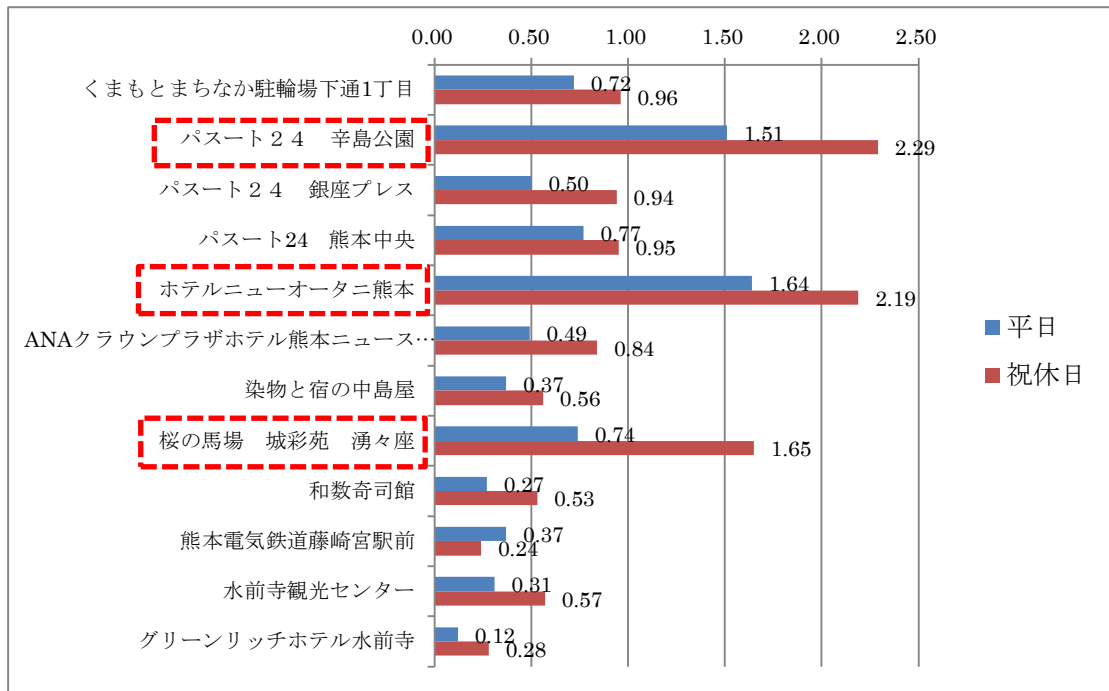
※1 稼働率＝日平均利用回数/貸出可能台数

※2 平成27年度より電動自転車50台に加え、普通自転車20台を追加導入

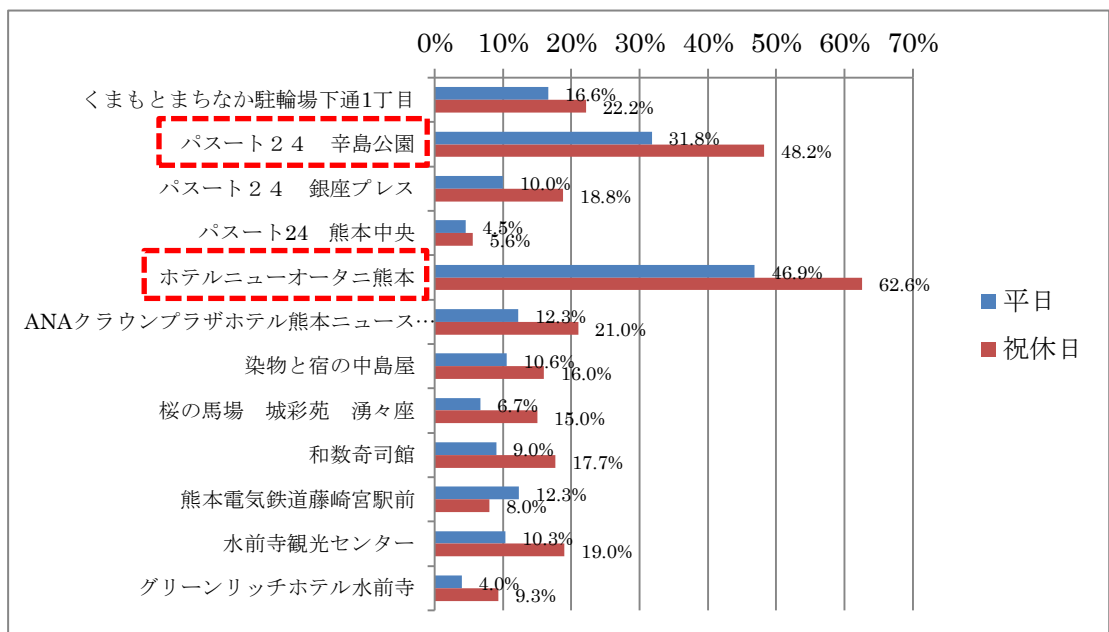


(ii) ポート別の利用状況

ポート別の利用状況を見ると、平日では「ホテルニューオータニ熊本」が、祝休日では「パスポート 24 辛島公園」が最も利用が多い結果となりました。このことから、公共交通機関（JR・バス）との交通結節地点での利用が多いことがわかりました。

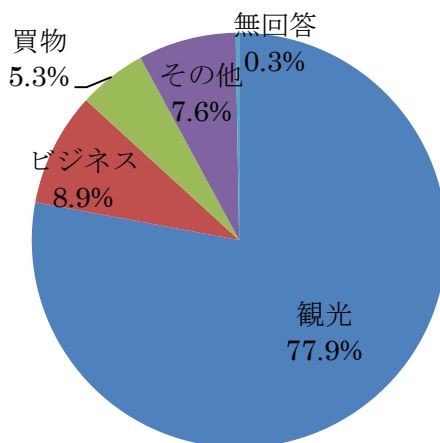


また、ポート別の稼働率では、平日・祝休日ともに「ホテルニューオータニ熊本」が最も多く、祝休日にいたっては約6割を占める結果となりました。



### (iii) 利用目的

利用目的は「観光」が約 8 割と最も高く、観光客の利用が多いことがわかりました。



### (iv) 収支状況

収支率は少しずつ改善傾向にありましたが、収支均衡には将来的にも困難な結果となりました。

年度	A 事業費 (歳出)			B利用料 (歳入)	収支率 (B/A)
	運営 委託費	貸出 手数料	合計		
平成 24 年度	3,766	73	3,839	550	14.3%
平成 25 年度	5,300	233	5,533	1,331	24.1%
平成 26 年度	5,450	289	5,739	1,539	26.8%
平成 27 年度	5,422	320	5,742	1,624	28.2%
合計	19,938	915	20,853	5,044	24.2%

### (v) 社会実験の評価

#### ●利用実態からの評価

ポート設置箇所の拡大や自転車台数の増加などの取り組みにより、より多くの方に利用され、利用者の回遊性の向上に寄与することができ、満足していただけの結果になりました。

しかしながら、利用客の約 8 割が観光目的での利用であり、本来の目的である日常生活や業務等へ活用を図る「都市型レンタサイクル」としては、十分に機能しない結果となりました。

## ●運営面からの評価

収支率も少しずつ改善していましたが、目標であった収支均衡は将来的にも困難な状況となりました。

また、国内で実施されているレンタサイクル事業の収支についても、車体広告収入や物販等の事業外収入の確保、駐輪場事業との一体的な運営等により運営経費の負担軽減を図っている都市もありますが、ほとんどの都市において採算がとれていない状況であり、収支均衡を目的とすることは非常に困難であることが分かりました。

## (2) 課題と見直しの方向性

社会実験の結果から、観光目的での利用が多く、日常生活や業務等での利用が少なかったことから、本市での都市型レンタサイクルの事業化は難しいものと考えられます。

また、レンタサイクル事業は社会実験結果や他都市の状況を見ても、採算性が低い事業であることから、今後は、観光客のニーズや需要の把握を行いながら、回遊性の向上や中心市街地の活性化など、観光面での効果等を含めた上で、観光型レンタサイクルの導入必要性について検討する必要があります。

## (3) 今後の取組

### ①実施方針

観光客の回遊性向上や中心市街地の活性化に向け、継続してレンタサイクルのニーズ調査や需要の把握を行いながら、観光型レンタサイクルの導入必要性について検討します。

また、レンタサイクルを実施している民間事業者と連携しながら、必要に応じて支援を行うなど、民間活力を活用したレンタサイクルの充実を図っていきます。

### ② 主な見直し内容

民間事業者が実施している既存のレンタサイクルとの連携・支援

### ③ 実施内容

#### (i) 民間事業者との連携・支援

民間事業者が実施しているレンタサイクルと協力体制を構築し、観光客の足の確保に努めます。また、必要に応じて市が支援するなどの検討を行います。

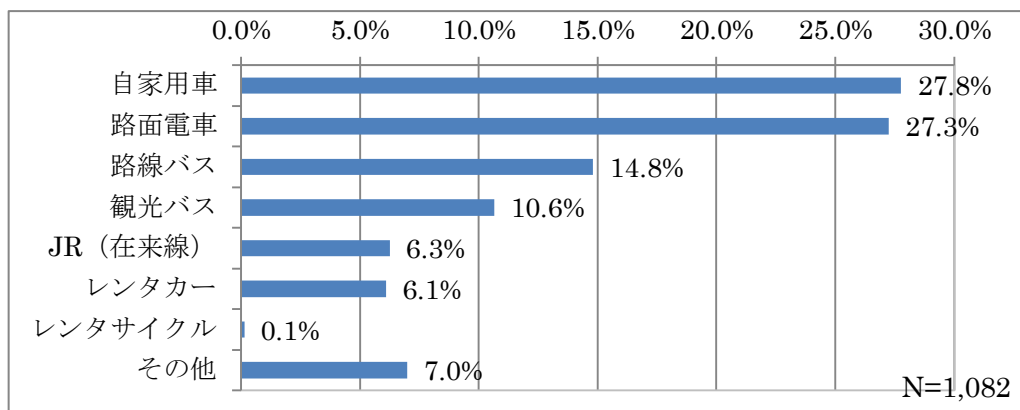


## (ii) レンタサイクルのニーズ・需要把握

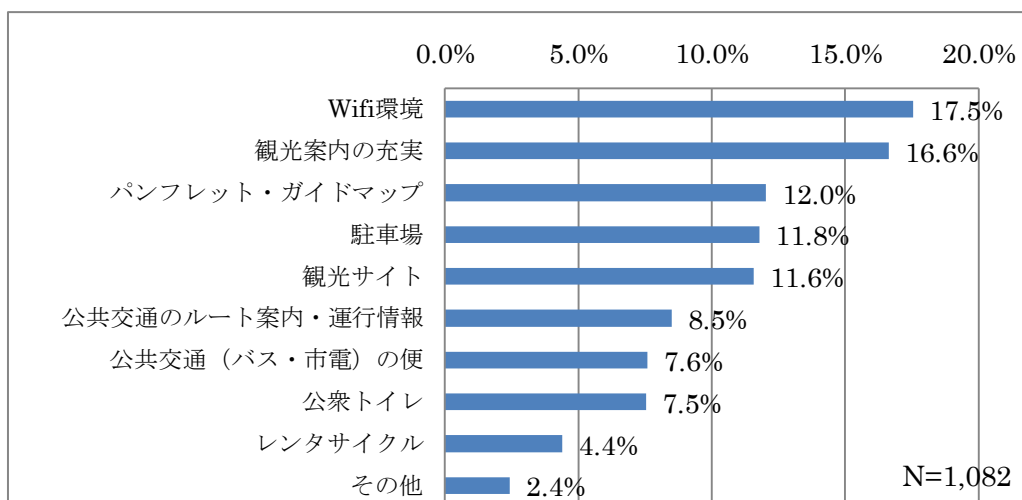
本市が実施している観光客へのアンケート調査において、レンタサイクルのニーズ調査を行います。また、民間事業者へのヒアリング等を行い、継続してレンタサイクルの需要を調査します。

### ▼観光客動向及び満足度調査（H29）

#### ○観光の際の熊本市内での交通手段



#### ○熊本市の観光に対して充実してほしいこと



【参考】既存のレンタサイクル事業

項目	熊本市国際交流会館	J R九州 駅レンタカー
事業名	K I F レンタサイクル事業	電動レンタサイクル楽チャリ
保有台数	電動アシスト自転車 7台 普通自転車 6台 計 13台 ※H28.4月に市より電動5台譲渡	電動アシスト自転車 4台
利用時間	9 : 00～21 : 30	9 : 00～17 : 00
貸出料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動アシスト自転車 500 円/日</li> <li>・普通自転車 300 円/日</li> </ul> ※電動自転車は1日、普通自転車は1週間まで連続利用可	<b>【J R利用者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2時間以内 400 円</li> <li>・4時間以内 800 円</li> <li>・4時間超過 1,200 円</li> </ul> <b>【一般利用者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2時間以内 500 円</li> <li>・4時間以内 1,000 円</li> <li>・4時間超過 1,500 円</li> </ul>
貸出返却場所	熊本市国際交流会館	駅レンタカー熊本営業所 (熊本駅新幹線西口)